

質疑応答要旨

ご質問 ①

フューチャーは、対話型AI をどのように活用するお考えでしょうか。
齋藤CTOにご回答をお願いしたいです。

【回答要旨】

フューチャーグループとしては、次の取組みを検討しています。

①お客様のビジネスへの活用

対話型AIにお客様固有の情報を学習させ、カスタマイズされたAIとしてより高い付加価値をお客様に提供します。

②当社のビジネスへの活用

設計書やソースコードなどの既存資料の整理に活用することで、システム開発の生産性向上を図ります。

ご質問 ②

介護分野におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）が進んでいないように感じています。この分野への参入について、現時点ではどのようにお考えでしょうか。

【回答要旨】

医療や介護の分野でのDX推進が求められており、私どもも様々な貢献ができると考えております。

フューチャーでは、ヘルスケア分野に特化した部門を新設し、医療系のベンチャー企業へのマイナー投資や、認知症の早期発見につながるシステムの開発を進めています。また、介護分野におけるデジタル化やDX推進において私どもがテクノロジーを駆使して貢献できる可能性を追求すると同時に、中規模の病院や大学病院とのアライアンスも進めています。

ご質問 ③

完全バーチャル総会はいつから実施する予定でしょうか。可能であればリアル総会も継続していただきたいです。

【回答要旨】

私どもはDX推進カンパニーとして最新技術を積極的に活用し、一昨年はハイブリッド総会、昨年は完全バーチャル総会を開催してまいりました。

今回、バーチャル総会を可能とする定款変更につきましてお諮りしたのは、万が一の準備のためでございます。頂戴した貴重なご意見を参考に、取締役会にて来期以降の開催方法について検討させていただきます。

ご質問 ④

繰延税金負債が減少している原因について教えてください。

【回答要旨】

繰延税金でございますので、納税の計画と実施とで差が生じております。今期につきましては、保有している投資有価証券の評価が下がったことにより、将来払うべき税金が減少しております。

ご質問 ⑤

サイバーセキュリティ分野は今後の成長が期待できていると思っています。フューチャーの事業におけるサイバーセキュリティの取組みについて教えてください。

【回答要旨】

フューチャー本体と、サイバーセキュリティを専門とする子会社のディアイティがサイバーセキュリティ関連のサービスを提供しております。

フューチャーは、企業が保有するサーバー等のセキュリティの脆弱性を検出し、対策案を提示するソリューションである「FutureVuls」を展開しております。また、社会インフラを担う多くのお客様には、非常に高度なセキュリティ要件を満たすシステムの提供を通じた貢献をしております。

ディアイティは、ハードウェアの販売およびコンサルティング、セキュリティ教育などの各種サービスを提供しております。

さらに当社では、全従業員を対象に定期的にセキュリティ教育を実施するとともに、月次で開催されるセキュリティ委員会にて模擬フィッシングメールの実施結果や当社コーポレートサイトに対する攻撃の内容等の情報を共有し、意識の向上に努めています。また、ISMSやプライバシーマーク等の第三者認証も取得しております。

ご質問 ⑥

プライム市場への移行により、投資家との対話がこれまで以上に求められていると思います。決算説明会以外に行っているIR活動の実績と今後の方針について教えてください。

【回答要旨】

決算説明会以外では、四半期ごとに機関投資家やアナリストの方々と個別ミーティングを実施しております。また、当社グループにおいて開示すべき内容につきましては、適切なタイミングでタイムラグが無いように積極的に発信をしています。一方で、個人投資家の皆様とのコミュニケーションが私どもの課題であると認識しております。

今年は社長である私がIRミーティングに自ら出席して機関投資家の皆様と直接対話もさせていただきました。今後はこのような機会を頻繁に設けるなど、より積極的にIR活動に取り組んでまいります。

以上